

【質問】 駐車場はどのくらいの台数停められるのか。

【回答】 台数までは把握していない。行事等の際、駐車場として使っているのは、登下校送迎の乗降場所として使用している荒宿駐車場と、旧シルバー人材センター跡地を使用している。

【質問】 高田小学校敷地は広い場所であるのに、江戸崎小学校は敷地等が狭いイメージがあるが大丈夫なのか。

【回答】 高田小学校の校舎を使用する場合、江戸崎地区3小学校の児童が入らないため増築等が必要となる。江戸崎小学校の場合、増築しなくとも高田小学校と沼里小学校の児童を迎え入れられる規模である。また、江戸崎小学校区の児童の方が高田小学校区の児童よりも多いため、通学を考えると高田小学校区の児童に江戸崎小学校へ通学してもらう方が効率的と考える。

【質問】 江戸崎小学校に統合ではなく、直接、江戸崎中学校へ統合できないのか。

【回答】 令和17年の統合まで待つとその前に高田小学校で複式学級が発生する規模となる。令和12年の統合時期に、直接、江戸崎中学校となると児童生徒数がまだ多く在籍しているため、増築部分が大きくなってしまうため、一度江戸崎小学校に統合することが最良であると考えている。

【質問】 駐車場を行事の時どうするのかなど具体的に考えた方が良いのでは。

【回答】 当然そのようなことは考えていく。この度お示ししたスケジュール案のように計画を立てさせていただいてから、駐車場問題のような細部に関しては話し合いの場を設けさせていただきたい。

【質問】 小学校には地域の想いがある。子どもの数が減ってるからというだけで簡単に統合を進めてほしくない。全て大きくすれば効率的ということではないのではないか。

【回答】 学校は地域に根付いたものでなければならないと考える。高田小学校の石碑は、100周年記念として高田区民の皆さまが寄贈したものであった。それを見たときに、高田小学校は地域の学校だと感じた。しかし、子どもへの教育の質というものを考えたときに、この先不透明で大変な時代を生き抜く力を身に付けてほしいという想いで、大勢の仲間たちと切磋琢磨して学習をしていく環境を作ってあげることが良いのではないかと考える。

【意見】 図書館を充実させてほしい。土浦の図書館などは勉強している学生たちがたくさんいる。稲敷市の図書館は浸水想定エリアにあるので、高台に立派な

図書館を1棟建築して蔵書して、子どもたちが勉強できるように整備した方が良いのでは。子どもたちが学べる環境がないと、都市部の学べる環境に流出してしまうと考える。

【回答】図書館も教育面で大事であると考えている。現在、学校にある図書室には全ての学校で学校司書を配置し、図書館での学習の充実を図っている。今後とも図書館、図書室の在り方というものを大事に考えていきたい。

【質問】新利根小学校や桜川小学校は、まだ新しいと思うが跡地利用は。

【回答】この度の計画案では、2つの学校しか使わない計画であって、10校を閉校していくこととなる。跡地利用に関して具体的に決まっていることはないが、今後、市役所全体で有効的に活用していけるように検討したい。

体育館に関しては、今年度と来年度に空調設備を設置する。閉校となった学校においても、避難所等として今後も体育館を使用することとなる。

【意見】桜川地区の閉校になった小学校跡地を見ると、草が伸び放題であったり、防犯上良くないと思うので跡地利用は良く考えてもらいたい。

【質問】高田小学校はプールやグラウンドがしっかり整備されている。江戸崎小学校に統合後に高田小学校施設を使用することはないのか。

【回答】現在、アイクラブに中学校の部活を地域移行することが決まっている。グラウンドについては、アイクラブに活用してもらうことも検討している。プールに関しては、現在具体的な活用方法は決まっていない。

【質問】運動会は高田小学校校庭でやる考えはないか。

【回答】学校が江戸崎小学校であれば、江戸崎小学校校庭で運動会は行うものと考えている。

【質問】ジャージはどうなるのか。

【回答】統合後も高田小学校のジャージを使用し、買い替えの時期が来たときに江戸崎小学校のジャージを購入していただきたい。統合前に市内全体でジャージを統一すればジャージ問題はでなくなると考えている。

【意見】制服も統合までに統一してもらいたい。

【質問】計画の案をいうことであるが、別の学校に統合するなど変更はあるのか。

【回答】どこかの学校区で子どもたちの数が増える場合など、計画を変更するだ

けの事由がないと別の学校にすることは考えていない。

【意見】中学校区ごとの引渡訓練の際は、江戸崎商店街が渋滞になると聞いた。有事の際に渋滞になっては、迎えに行けないので検討してほしい。

【質問】スクールバスは今のルートの延長となるのか。

【回答】統合になると、スクールバスで通学する児童が増えるので、ルート等は見直すことになる。

【質問】スクールバスは中学生も出してくれるのか。

【回答】中学校が2箇所になれば、自転車では通学できない場合もあるので、スクールバスを運行することとなる。

【質問】児童クラブはどうなるのか。

【回答】現在は未定である。

【意見】児童クラブは近いところにあった方が良い。放課後、スクールバスで児童クラブまで行くなどしてもらえれば助かる。

【質問】スクールバスの待機場所が高田小学校ならあるが、江戸崎小学校になると待機場所があるのか。

【回答】スクールバスの本数が増えるので、乗降場所等も今後検討していきたい。

【質問】江戸崎中学校の1年生が89人いて2学級となっているが、40人1学級ではないのか。また、35人1学級とはならないのか。

【回答】現在小学校6年生までは35人1学級となっているが、中学校においては、40人1学級となっている。その40人というのは通常学級の生徒の数であり、特別支援学級の生徒は含めないで、40人以上の学級となる場合がある。今後、40人学級から35人学級に変更になる可能性があると考えている。

【質問】小学生と中学生が同じ敷地になるといじめなどの問題が起きるのではないか。

【回答】いじめは全体に許さないということで全ての学校徹底している。以前までなら許されていたことも、現在は本人が嫌だと思ったら全ていじめとして、早い段階で教員が間に入って対処している。

小学生と中学生が一緒に生活することによって、育まれることもたくさん

あると考える。

【質問】資料にある人口推計を上回る数で児童生徒数が減少した場合、市内で1校にする考えはあるか。

【回答】検討委員会でも1校で足りるのではないかという議論もあったが、東西に広い稲敷市の地形を考えると、通学への負担を考慮すると東西に1校ずつが最良であると考えます。